

(様式 1)

# 履歷書

平成 年 月 日 作成

ふりがな	性別	取込3ヶ月以内に撮影のもの 上半身、正面向きの写真 写真裏面に氏名を記入すること
氏名印	男・女	
生年月日 昭和・平成 年 月 日生(歳)		
ふりがな	電話番号	
現住所 (〒一)	自宅	
	方	携帯
ふりがな その他連絡先(海外在住の方は日本における連絡先を必ず記載のこと。) (〒一)	電話番号	
	方	
メールアドレス(添付ファイルを受信できるアドレスを記載のこと)		

区分	年	月	資 格 等
資格	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現 在 の 勤 务 先

ふりがな
名 称
所在地 (〒 - )
TEL( ) -
職種及び職務内容(具体的に)

自 己 紹 介 欄

志望動機・当館勤務における抱負
-----------------

専攻(専門分野)及び所属学会等
-----------------

主要論文等テーマ(応募時添付のもの)
--------------------

語学 英語( 1 2 3 4 5 )	他の外国語
健康状態	趣味・スポーツ

どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？ 該当の□にレを記入してください。

- 国立文化財機構のウェブサイト       九州国立博物館のウェブサイト  
 JREC-IN(研究者人材データベース)       その他( )

その他
-----

## 履歴書について

- (1)パソコンによる入力可とします。ただし氏名欄は自筆押印ください。なお、自筆の場合は、万年筆又はボールペン(黒色又は青色)で記入してください。
- (2)年は元号で、数字はアラビア数字を用い、文字は楷書により正確に書いてください。
- (3)写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (4)職歴欄にはすべての職歴を記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
- (5)語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (6)他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。(入門・初級) (英語の場合、目安として、TOEIC370点程度若しくは英検3級程度)
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。(中級) (英語の場合、目安として、TOEIC520点以上若しくは英検2級程度)
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。(中上級) (英語の場合、目安として、TOEIC730点以上若しくは英検準1級程度)
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。(上級) (英語の場合、目安として、TOEIC820点以上若しくは英検1級程度)

例　　英語(123④5)　　他の外国語（独語 4）

- (7)英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC 等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。  
例　　英検準1級(H20)　　TOEFL450点(H22)
- (8)ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (9)メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、メールアドレスを持っている場合は、記入願います。